



AZUMA Holdings Group



アヅマホールディングス(株) 外観

- 本社所在地：新潟県新潟市中央区
- 事業概要：計測及び生制御機械装置の販売、電気機械器具の販売、エレクトロニクス機器等の輸入販売、試験機の製造販売
- 常時使用する従業員：117名
（グループ全体・2024年12月期）
- 現在の売上高：69億円
（グループ全体・2024年12月期）
- 法人番号：1110001035388
- Web：https://azuma-holdings.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
関 博司

グループ理念：成長と幸福の追求

当グループは、年率5%の持続的成長を目標に、2033年に売上100億円を達成する計画である。その実現のために、人材育成の共通化と専門化を両立させつつ、グループ全体の営業力・技術力を底上げし、社会的需要や先端市場に対応する体制を強化する。さらに、M&Aとシナジー活用により成長基盤を拡充し、顧客・地域社会への貢献と社員の待遇改善を同時に実現する。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年 売上高達成に向け、グループ各社とのシナジーを活かし、M&Aも推進し、グループ全体で年率5%程度の成長を目指す。

課題

グループ各社において、技術者・営業人材の不足が共通課題として顕在化している。特にベテラン社員の引退に伴うスキル承継リスク、施工管理人材や校正技術者不足、先端分野に対応できる技術者不足が課題となっている。営業面では、他代理店とのすみ分けや新規顧客開拓における効率性不足があり、各社とも提案力強化が求められている。市場の高度化ニーズ（自動化、省力化、先端研究領域）に十分対応できておらず、従来型の営業力・技術力の枠を超えた対応が急務である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

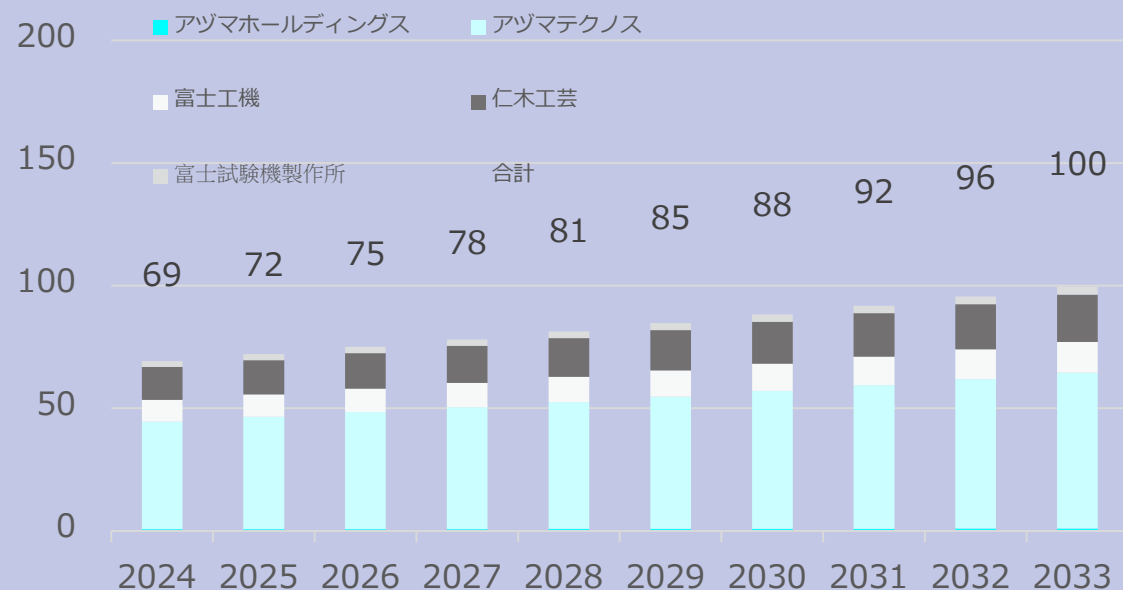
営業拠点の新設、グループ商材の横展開により、販売網を拡大。顧客の自動化・省力化ニーズに応えるため、ロボット・AMRなどの新規商材を強化。治水対策の公共工事や研究投資拡大など、社会的需要に対応する体制を整備。海外の先端メーカーとの協業を通じて最先端技術を導入し、高付加価値分野での競争力を確立。M&Aを継続的に推進し、事業領域の拡大とシナジーの最大化を図る。

実施体制

グループ横断の「人材育成プログラム」を整備し、理念・品質・安全・営業リテラシーなどの共通基盤を標準化。各社では専門性に応じた技術研修を個別最適化し、共通基盤+専門教育の二層構造で育成を推進。グループ内で人材交流制度を導入し、短期出向や共同研修により知識・経験を共有。営業開発室を中核とした全社的な営業支援体制を整備し、提案力と顧客対応力を強化。アヅマホールディングスが統括し、各社の成長戦略を連動させ、シナジー創出と戦略実行を牽引する体制を確立する。

売上高100億円実現目標とグループ体制

売上高



100億
達成



(株)アヅマテクノス

計測及び制御機械装置の販売・修理校正サービス



富士工機(株)

電気電子部品・計装機器・ポンプの販売・工事・メンテナンス

アヅマホール
ディングス(株)



仁木工芸(株)

超低温・放射線計測機器等の理化学機器の輸入・販売・メンテナンス



(株)富士試験機製作所

試験機の製造・販売・修理校正サービス